

富

山第一高等学校3年、水野孝之さんが、7月31日に名古屋市中で行われたボクシングのプロテストに一発合格。立山町から現役高校生ボクサーが誕生した。

甲子園を目指す高校球児だった水野さんが、ボクシングの魅力にとりつかれたのは高校1年

の夏。たまたま見たマイク・タイソンの試合だった。「左フックを食らった相手がりング中央で崩れ落ちたのを見て、鳥肌が立った」。自分も紙一重の勝負をしたい。直感でそう感じた。高校3年の夏が終わった後にと

年早め、高校2年の秋にボクシングジムに入門した。それからわずか8カ月。見事、プロのスタートラインに立った。「世界チャンピオン。夢はゆずれません」と断言する。「KO勝ちにこだわりたい。見ている人が盛り上がりてくれるような試合がしたい」と話す表情からは、プロの自覚が見て取れる。今は10月9日に金沢市で行われるバンダム級のデビュー戦に向け、連日トレーニングを重ねる。



水野 孝之

●みずの・たかゆき
富山一高に通う現役プロボクサー。「KOで勝てる選手になりたい」。泉在住。18歳。

桃井 悟

●もものい・さとる
トヤマボクシングジム会手選手。田添在住。50歳。

「強くなるかどうかは本人次第。ただ、水野には持つて生まれたパワーと恵まれた体格、ボクシングへの強い思いがある。まだまだ荒削りだが、勝てる選手にしたい」と期待を寄せるのは、所属するトヤマボクシングジムの桃井悟会長。立山町民である桃井会長自身も、指導者として世界を目指している。「日本チャンピオンすら生まれていない富山県。このジムから富山初の日本、そして世界チャンピオンを育てるのが夢です」。

何があっても3年間は挫けない。プロテストを受ける前に、会長と約束した。「その3年で結果を出したい。まずはデビュー戦、KO勝利を目指します」。会長がかまえるミットに渾身の力でパンチを打つ。腕が上がらなくなっても打ち続ける。打ち込んだパンチの数だけ、夢の現実が近くなる。



世界チャンピオン。ピオンの夢はゆずれない。
まずはデビュー戦、KO勝利を目指します。



善意銀行 8月受付分

- 老人車1台・杖2本 三鍋徳治様
- 10万円 田中幸雄様
- 10万円 福井雅喜代様
- 5万円 山崎 勉様
- 10万円 村崎弘明様

あのねのね

▼広報を担当できてよかったと、こんなに強く感じたのは初めてです。今回の特集は、あらためて僕に立山のことを教えてくれました。取材を快く受けてくださった皆さん、本当にありがとうございます。立山という大きな題材を特集しようと考えたとき、正直すごく悩みました。こんな大きなテーマを、どうやって伝えたらいいんだろう、と。そんな悩みも取材を重ね、話を聞くうちに解決しました。そうだ！そのまま書けばいいんだ！▼そして今度は、そのまま書くのに悩む日々。聞いたことを、そのままに。僕が受けた感動を、できるだけそのままに...果たして伝わったでしょうか▼この町に生まれ育って27年。これからは、いろいろな人に立山を自慢しようと思えます。(はやし)